# 活気

1／切れのある踊りとチームワークで観客を魅了したくじ夢の会のよさこいソーラン
2／みこしをかつぐ湊宝心会の子どもたちの威勢のいい掛け声にまちは活気に包まれました
3／長内組の子どもたちは鎮魂の願いを込め、元気よく創作みこしを引きました

沿道には大勢の観客が詰め掛けました

## 心を一つに、笑顔で前に進もう

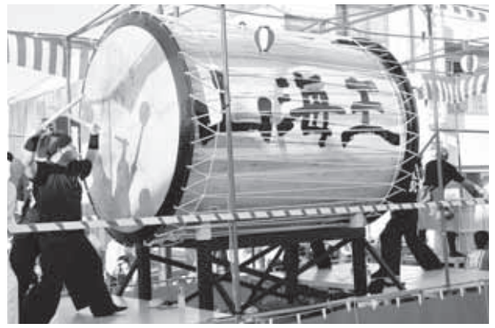
東日本大震災から1年6カ月、復旧・復興に向けて前に進む中で開催された久慈秋まつり。残暑も過ぎ、23日のお還りは小雨が降る中で運行が始まりました。次第に雨足は強まりますが、山車組やみこしなどの威勢のいい掛け声は運行を終えるまで続きます。観客も帰ろうとはせず、運行の最後を飾る当番組の見返りを最後まで見送っていました。その表情にはまつりを楽しみ、前を向いて進もうとする明るい笑顔が見られました。

参加する全ての人の情熱が響いた秋まつりは、世代を超えて心を一つにし、まちに元気を与えてくれました。

一歩ずつ着実に進む復興を後押しするような山車組やみこし、踊り、観客の歓声、みんなの笑顔―、その全てが復興への原動力。久慈の明るい未来を強く感じさせる秋まつりでした。

## みんなの笑顔が復興への原動力―

## 復活



津波で全てを流された久慈備前太鼓は、多くの人から熱い支援を受け復活。９月22日に初披露となった大太鼓「山海王」は直径2.25mと東北でも最大級の大きさを誇ります。久慈の自然を象徴する「山」と「海」が名前の由来です

上／長内小学校は元気なおはやしと太鼓のさんさ踊りを披露
下／息の合った優雅な流し踊りに沿道からは、たくさんの拍手が送られました

## 優雅